

化学療法指示書（ドセタキセル+TS-1）

1クール21日（21日ごと投与）

第（ ）クール

I D				外来・入院(号)
氏 名				性別
生年 月日	年	月	日	(歳)

主治医		CCr	ml/min
身長	cm	腎機能	正常/異常
体重	kg	肝機能	正常/異常
体表面積	m ²		

TS-1 day 1~14内服 day 15~21休薬 投与量はCCr考慮

投与量	体表面積	1日用量
	1. 2.5m ² 未満	80mg (20mg 4C)
	1. 2.5m ² 以上1. 5m ² 未満	100mg (25mg 4C)
	1. 5m ² 以上	120mg (20mg 6C)



朝・夕
分2

ドセタキセル day 1 点滴静注

投与量 (40mg/m²) = () mg

27	中心静脈注射	98	無菌(悪性腫瘍剤)	サイン	
39	埋込型カテーテル中心静脈	33	外来化学療法加算	Pr	Dr
	年 月 日 (day 1~14)			Ns	医事
内服処方 TS-1 () mg () Cap 2x(14) MA				処方箋にて入力	
TS-1 20mg () C (214609)					
TS-1 25mg () C (214619)					
年 月 日 (day 1)					
[:]	プライミング				
	大塚生食注 20mL	1A	(303601)		
[:]	ボトル① 20分			ボトル①	
	大塚生食注 50mL	1V	(310116)	↓ 20分	
	デキサート 6.6mg	1V	(310445)		
	グラニセロン静注液 3mg	1A	(303613)		
[:]	ボトル② 60分~120分			ボトル②	
	大塚生食注 250mL	1V	(310113)	↓ 60分	
	ワンタキソテール () mg (40mg/m ²)				
	ワンタキソテール 80mg	() V	(304013)		
	ワンタキソテール 20mg	() V	(304012)		
[:]	大塚生食注 20mL	1A	(303601)		
	ハ°リンNa ロック10シリンジ	1V	(306605)		

※点滴開始後、10分間は点滴速度を少し遅めにして、全身状態を観察すること。
投与時間は、120分間を上限とする。

	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day1)		前 中 後	嘔気嘔吐 血管炎 排便状態(下痢・便秘) 脱毛 発熱	サイン

投与基準

- 好中球数:2000/mm³未満、血小板数:100000/mm³未満、ヘモグロビン8.0g/dL未満
- AST(GOT)・ALT(GPT):150IU/L以上、総ビリルビン3mg/dL以上
- クレアチニン:1.5mg/dL以上
- 下痢、口内炎、その他の非血液毒性がGrade2以上のとき
- 発熱、CRP上昇、白血球増加

→上記の基準に当てはまる場合は、投与休薬必要

※初回投与基準および減量基準は「ティーエスワン製品情報概要」、「ドセタキセルによる外来がん化学療法」参照

主な副作用

- アナフィラキシー
- 脱毛（発生時期:投与後2～3週間後からが多く、治療終了後3～6ヶ月で再び発毛）
- 骨髄機能抑制（7～10日目以降）
- 悪心・嘔吐、食欲不振、口内炎
- 下痢
- 色素沈着、発疹
- 体液貯留(浮腫)

注意事項

- アルコール過敏症か否かの聴取（アルコール摂取で赤くなる患者かどうか？）をすること
アルコール不可の場合、タキソテールでの調製を検討すること
- ミキシング時21～23Gの針を使用すること
- 血管外漏出に注意(壊死性)
- CYP3A4で代謝される薬剤との併用注意(タキソテールの血中濃度が上昇する)
- フェニトイン、ワーファリン(TS-1との併用注意)
- 他のフッ化ピリミジン系薬剤の服用が 前後7日以内 ないことを確認